



西念寺だより

神無月号



令和2年10月10日

〒610-0331 京田辺市田辺北里29番地

TEL 0774-62-1027 0774-63-2912

念仏の尊さを知り感謝の気持ちでお称えしましょう

かの岸に漕ぎ離れたるあまなれば

おしてつくべき浦も持たらず (発心集)

観測史上例のない猛暑や各地に大きな被害をもたらした豪雨など、異常続きだった天候もすっかり落ち着き、実りの秋に相應しい爽やかな季節となりました。

平素は寺門運営に何かと御支援を賜り、誠にありがとうございます。

お彼岸中日法要には多くの方にお参りいただき誠に有り難うございました。春はコロナの対応でやむなく中止させていただきましたが、久しぶりに皆様にお参りいただき、法要を勤めることができ、大変嬉しい気持ちでいっぱいでした。

今月末のお十夜法要は今年最後の法要になります。「with コロナ」と言われる現在、感染予防に努めながら実施してまいりますので、皆様の御参詣をお待ちしております。

さて、冒頭の『発心集』は鎌倉時代初期に鴨長明が編んだ仏教説話集です。長明は、「仏の教へ給へる事あり。心の師とは成るとも、心を師とする事なかれ」としたためています。自分の好きにしたいというような思いに振り回されることなく、自らの心を抑え良い方向に導いていきなさい、それが仏様の教えだという訳です。その為に「道の辺のたわいないことの中に、自分なりに発心の思いを見つけて心を楽にしたい」というのが『発心集』で、その一つの話に載せられているのがこの歌です。

地位の高い女官が清水寺に参籠した時、みすぼらしい身なりの老尼が物乞いにやってきました。晩秋の十月だというのに老尼は破れた単衣を一枚だけ着て、その上に蓑を被っていました。哀れに思った女官は老尼を呼び止めて、御簾の中から単衣を一つ出して与えました。

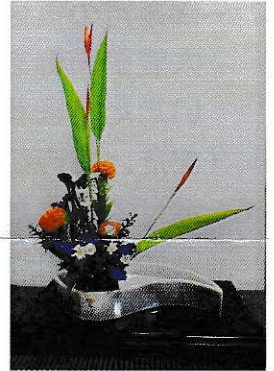
すると、喜んで受け取ると思いきや老尼はそれを寺に奉納してしまいました。老尼は奉納所で硯と筆を借り、大変な美しい文字でこの歌を書き、何処ともなく去っていきました。

この歌は、身はまだこの世にいても心は彼岸のお浄土にいるので、着物を押し出していたただかなくてもかまいません。また、彼岸に押し出す渡し船も、もはや必要ないという意味です。歌の言葉の意味もさることながら、その字の美しさに老尼のお念仏を通した心の清らかさが現れているという逸話です。



昨年のお十夜法要の様子

お十夜は、お念仏の尊さを知り感謝の気持ちを込めてこれをお称えし、阿弥陀さまのお慈悲に感謝する法要です。コロナ禍で中止や自粛が続いた年でしたが、今年最後の行事となります。皆様お誘い合わせの上、お参りくださいますようお願い申し上げます。



【後期齋米(寺院経費)のお願い】

誠に申し兼ねますが例年の如く本年度後期寺院経費の御喜捨お願い申し上げる時期となりました。

檀信徒の皆様方には何かと御迷惑をお掛けいたしますが、何卒宜しくお願い申し上げます。

- ・担当評議員様のおられる地域につきましては評議員様に御無理をお願いして皆様方の御家庭に回っていただいております。

評議員様がお回りいただきました際には何卒御協力の程お願い申し上げます。

- ・御遠方の檀信徒様には郵便振替用紙を同封させていただいております。

大変御面倒をお掛け致しますが、郵便局においでになります際、合わせてお振り込みいただきますよう宜しくお願い申し上げます。

また、お寺にお越しいただいた折にお寺または役員会計様にお届けいただいても拝受させていただきます。

御迷惑をお掛け致しますが、何卒宜しくお願い申し上げます。

【秋の彼岸会の様子から】

9月19日から25日まで、秋の彼岸会を厳修いたしました。22日(火)のお中日法要には30名を超える檀信徒の方々にお参りいただきまして誠にありがとうございました。今回はコロナ対応で短時間に短縮して実施させていただきました。法要の後、副住職が法話をさせていただきましたが、御参詣の皆様には最後まで御清聴いただき、心より厚く御礼申し上げます。



また、お彼岸期間中、遠方からも160名を超える多くの方々にお参りいただき、御回向をいただきました。中日法要で全体回向、彼岸の入りから結願までの毎日、施主様毎に回向させていただきました。御回向賜りました皆様方、誠にありがとうございました。

(別紙をご覧ください)

【永代祠堂金御寄進のお知らせ】

北川聡様より北川輝男様と北川佐和子様のお逝去に際し、太田初子様より太田清一様の50回忌に際して永代祠堂の御寄進をいただきました。誠に有り難うございました。

- ・永代祠堂料 金100万円 為 威徳院賢譽正道輝信居士菩提(故 北川輝男様)
為 浄光院和譽慈恵清信大姉菩提(故 北川佐和子様)

施主 北川 聡 様

- ・永代祠堂料 金30万円 為 正覚院応譽報真学務居士菩提(故 太田清一様)

施主 太田 初子 様

【院号料御寄進のお知らせ】

北川聡様より北川輝男様と北川佐和子様の院号授与に際し、院号(什部料)の御寄進をいただきました。誠に有り難うございました。

- ・院号(什部料) 金70万円 為 威徳院賢譽正道輝信居士菩提(故 北川輝男様)
為 浄光院和譽慈恵清信大姉菩提(故 北川佐和子様)

施主 北川 聡 様